

Global Digital Transformation Partner

2019年3月期 第1四半期決算 補足説明資料



2018年7月31日

トランスコスモス株式会社

本資料に含まれる将来の予測に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本経済、株式市場の動向や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展により変動することがあり得ます。従って当社として、その確実性を保証するものではありません。なお本資料では、金額は百万円未満切捨、%は小数点以下第2位を四捨五入で表記しています。

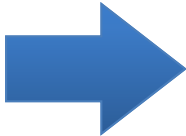
1. エグゼクティブサマリ
2. 連結損益計算書サマリ
3. セグメント別業績サマリ
4. 連結売上高の増減分析
5. 連結営業利益の増減分析
6. 連結販管費の推移
7. 単体サービス 営業利益の増減分析
8. 単体サービス 販管費の推移
9. 親会社四半期利益の増減分析
10. 連結貸借対照表の概要
11. 単体サービス 分野別売上高
12. 設備投資・減価償却・従業員数・サービス拠点
13. 1Q 活動トピックス

1. エグゼクティブサマリ

成果

- 連結売上高+8.4%、引き続き高い成長率を維持
- 国内関係会社事業は増収・増益に転換
- 海外関係会社事業は高い成長と収益性改善が続く
- 経常利益は大幅増益
既存ポートフォリオ見直し効果および持分法投資損失の改善

課題

- 単体サービスの収益性低下
-  前期に実施した新規取り組みの早期収益化を目指す

2. 連結損益計算書サマリ

- 売上高：主に単体サービス、海外関係会社の受注増加で増収
- 営業利益：海外関係会社は収益性改善するも単体サービスが収益性低下で減益
- 経常利益：ファンド運用益の増加や持分法投資損失の減少など営業外損益改善で増益
- 四半期利益：経常利益の増加で増益

単位：百万円	2018年3月期 1Q		2019年3月期 1Q		増減	
		(構成比)		(構成比)	(増減額)	(増減率)
売上高	61,898	100.0%	67,083	100.0%	5,184	8.4%
売上原価	51,949	83.9%	56,497	84.2%	4,548	8.8%
売上総利益	9,949	16.1%	10,585	15.8%	636	6.4%
販管費	9,508	15.4%	10,590	15.8%	1,081	11.4%
営業利益	440	0.7%	▲ 4	▲0.0%	▲ 445	-
営業外損益	▲ 230	▲0.4%	476	0.7%	707	-
経常利益	210	0.3%	472	0.7%	262	124.8%
特別損益	388	0.6%	147	0.2%	▲ 241	▲62.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	123	0.2%	258	0.4%	135	109.5%

3. セグメント別業績サマリ

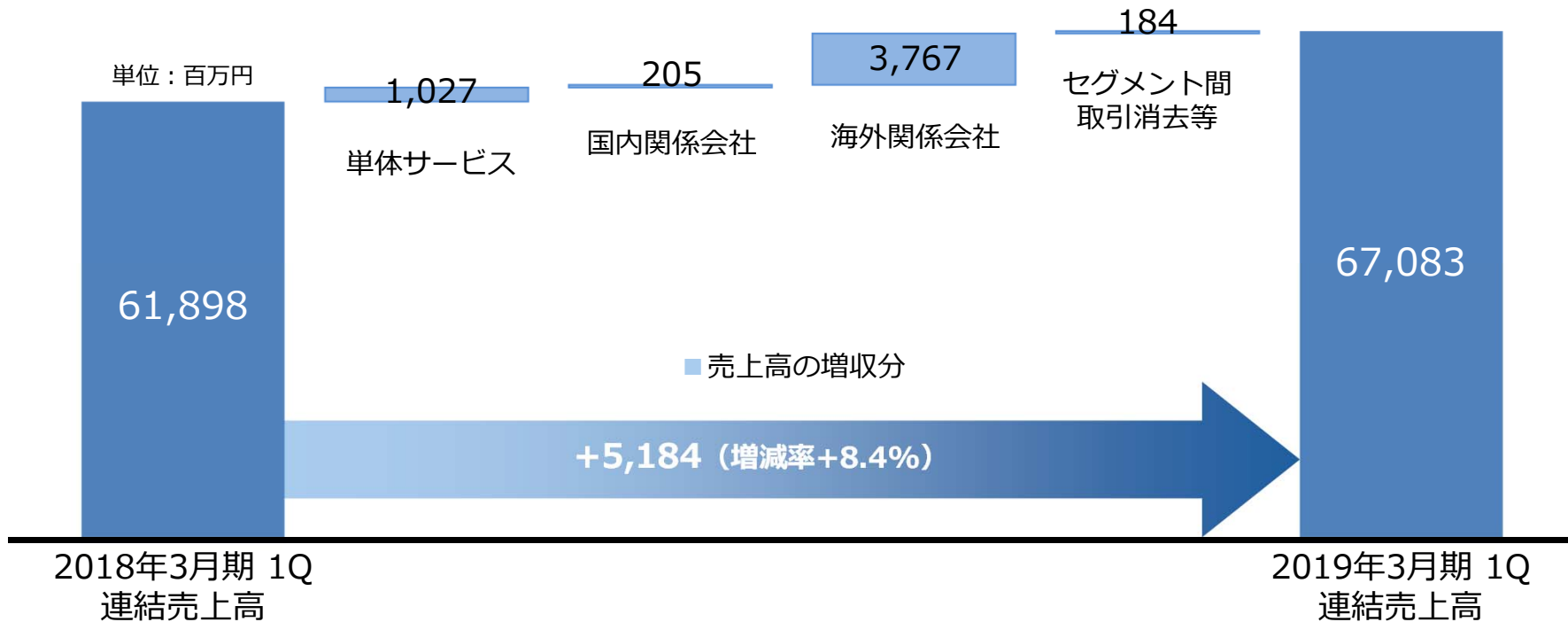
- 単体サービス：増収・減益。受注は堅調だが前期に増加した販管費の影響で収益性低下
- 国内関係会社：増収・増益。一部子会社の事業再構築により採算性が向上
- 海外関係会社：増収・増益。中国・韓国子会社の堅調な業績とASEAN子会社の収益性が改善

単位：百万円		2018年3月期 1Q		2019年3月期 1Q		増減	
			(構成比)		(構成比)	(差額)	(増減率)
売上高	単体サービス	48,958	79.1%	49,985	74.5%	1,027	2.1%
	国内関係会社	4,654	7.5%	4,859	7.2%	205	4.4%
	海外関係会社	10,372	16.8%	14,140	21.1%	3,767	36.3%
	セグメント間取引消去	▲ 2,086	▲ 3.4%	▲ 1,902	▲ 2.8%	184	8.9%
	(合計)	61,898	100.0%	67,083	100.0%	5,184	8.4%
セグメント 損益	単体サービス	638	144.8%	▲ 57	-	▲ 695	-
	国内関係会社	42	9.6%	144	-	101	239.7%
	海外関係会社	▲ 235	▲ 53.5%	▲ 82	-	153	65.0%
	セグメント間取引消去	▲ 4	▲ 0.9%	▲ 8	-	▲ 4	▲ 111.9%
	(合計)	440	100.0%	▲ 4	100.0%	▲ 445	-

4. 連結売上高の増減分析

● 売上高 増加 : +5,184百万円 (+8.4%)

- 単体サービス** BPOサービスの受注増加で増収
- 国内関係会社** 一部子会社の売上増加で増収
- 海外関係会社** 中国・韓国子会社の売上増加で増収



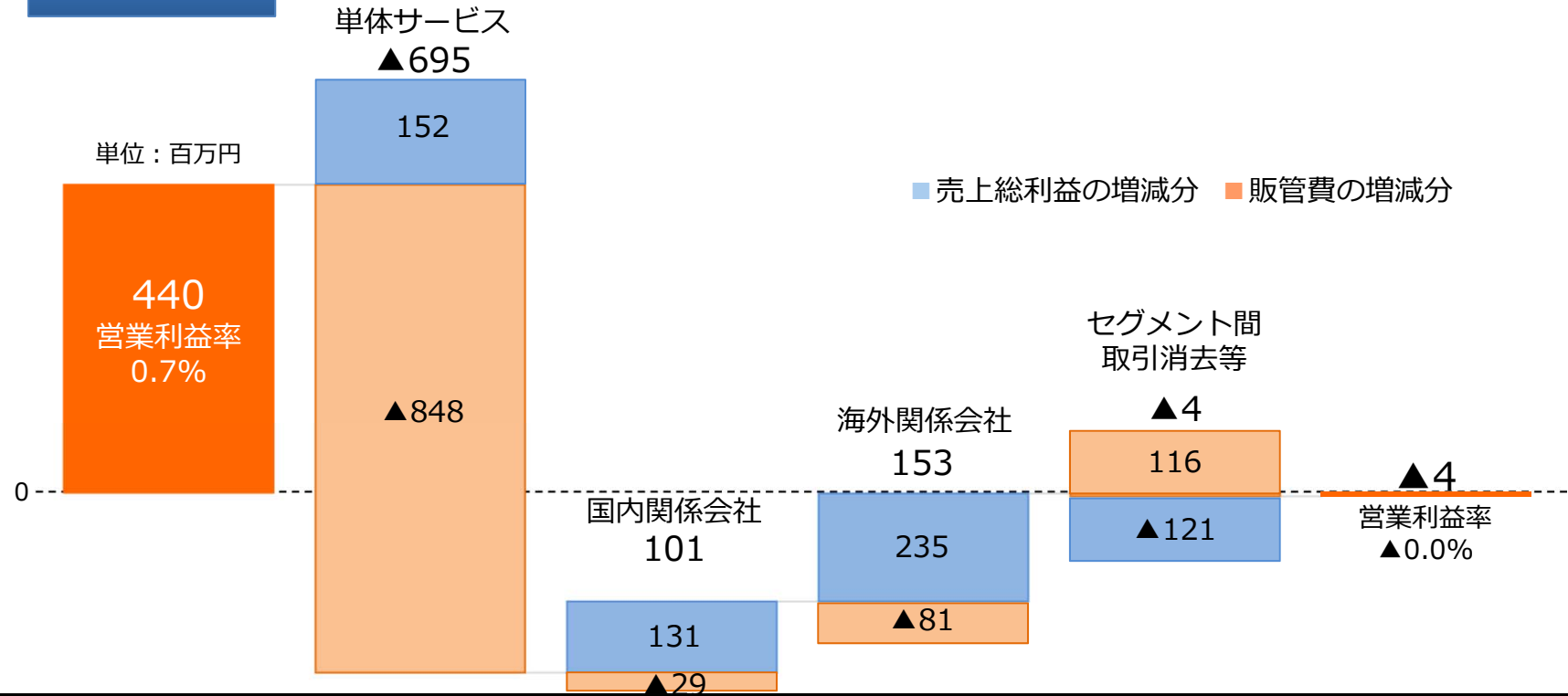
5. 連結営業利益の増減分析

● 営業利益 減少 : ▲445百万円 (-%)

単体サービス 前期に実施した先行投資により増加した販管費の影響で減益

国内関係会社 一部子会社の事業再構築による採算性の向上で増益

海外関係会社 韓国子会社の収益性改善、中国オフショア・ASEAN子会社の赤字縮小などで増益

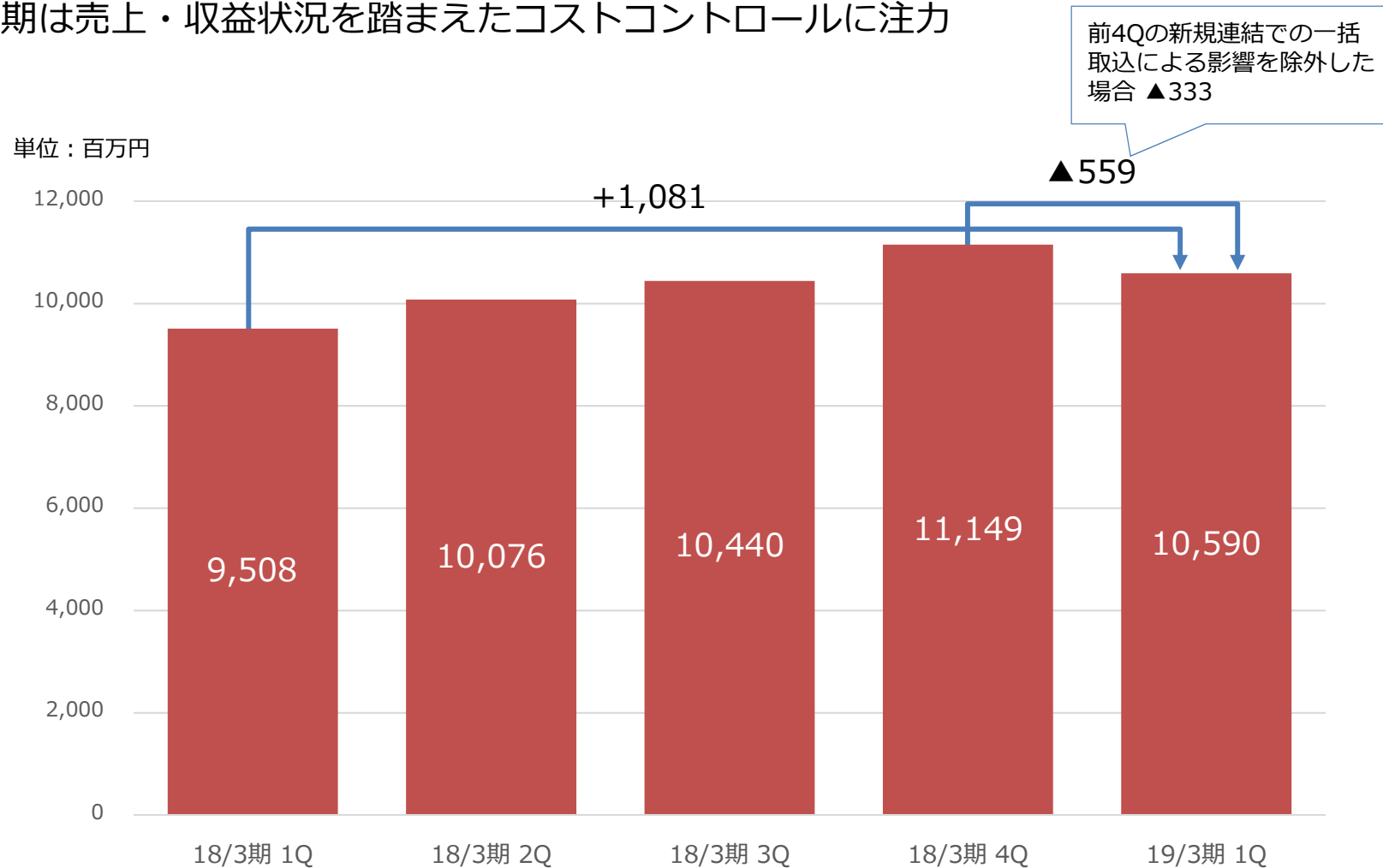


2018年3月期 1Q
連結営業利益

2019年3月期 1Q
連結営業利益

6. 連結販管費の推移

- 2018/3期は単体の先行投資や新規連結などの影響で販管費が上昇
- 前1Q比では1,081百万円増加したものの、前4Q比では559百万円減少
- 当期は売上・収益状況を踏まえたコストコントロールに注力

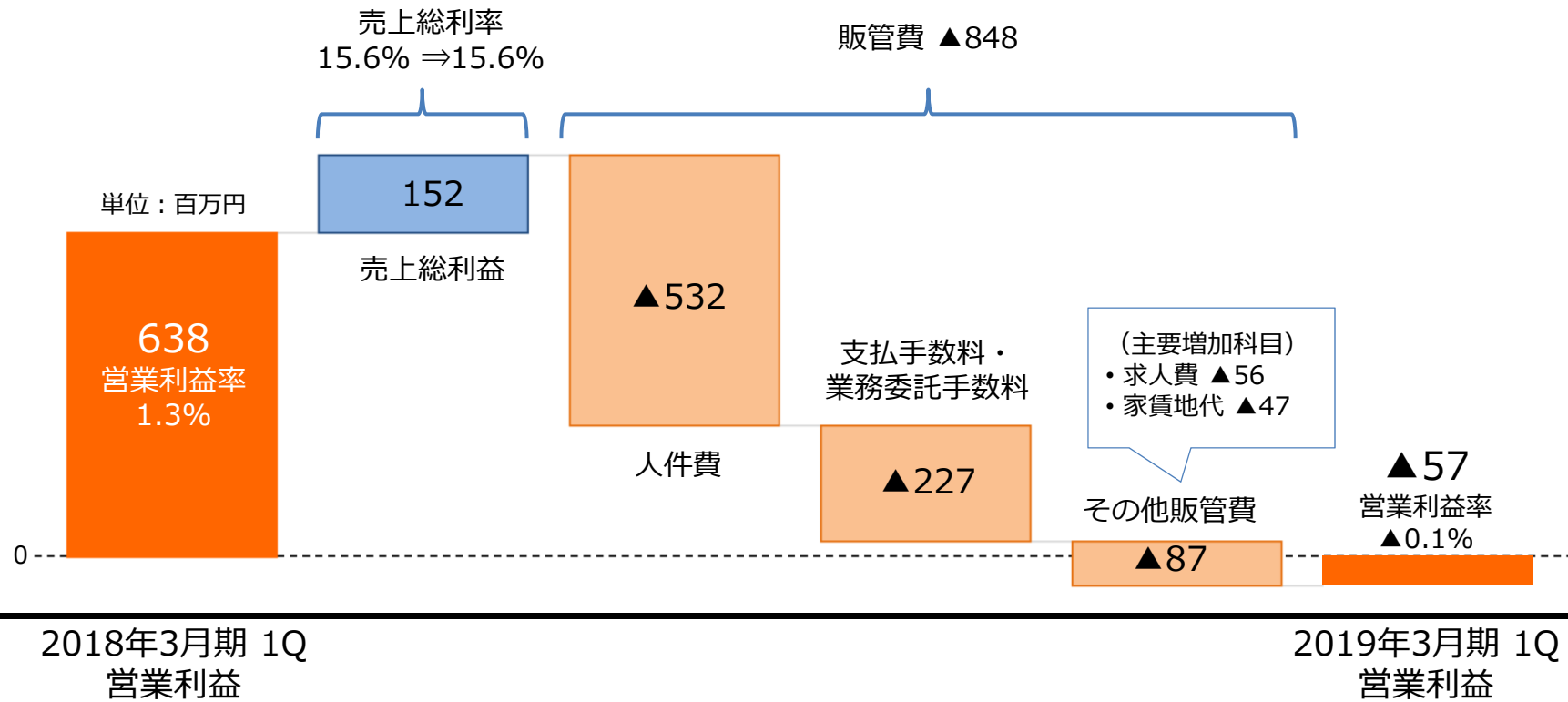


7. 単体サービス 営業利益の増減分析

● 営業利益 減少 : ▲695百万円 (-%)

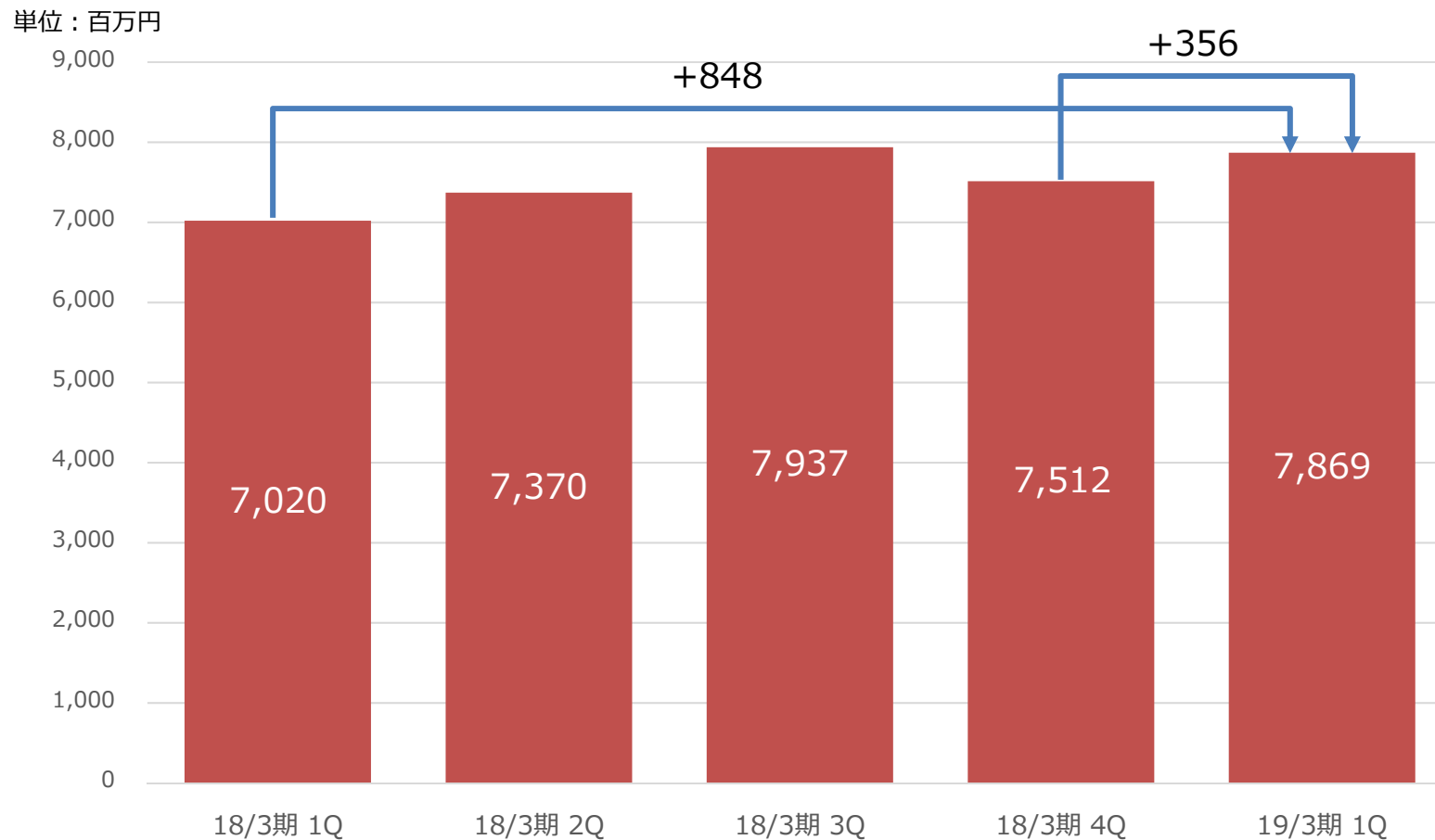
売上総利益 売上増加に伴い増益。売上総利益率は前年同期と同水準の15.6%を維持

販管費 前期に実施した先行投資の影響で848百万円増加



8. 単体サービス 販管費の推移

- 2018/3期は人件費を中心とした先行投資により販管費が上昇
- 前1Q比では848百万円増加、前4Q比では新卒採用の影響など356百万円増加
- 当期は売上・収益状況を踏まえたコストコントロールに注力

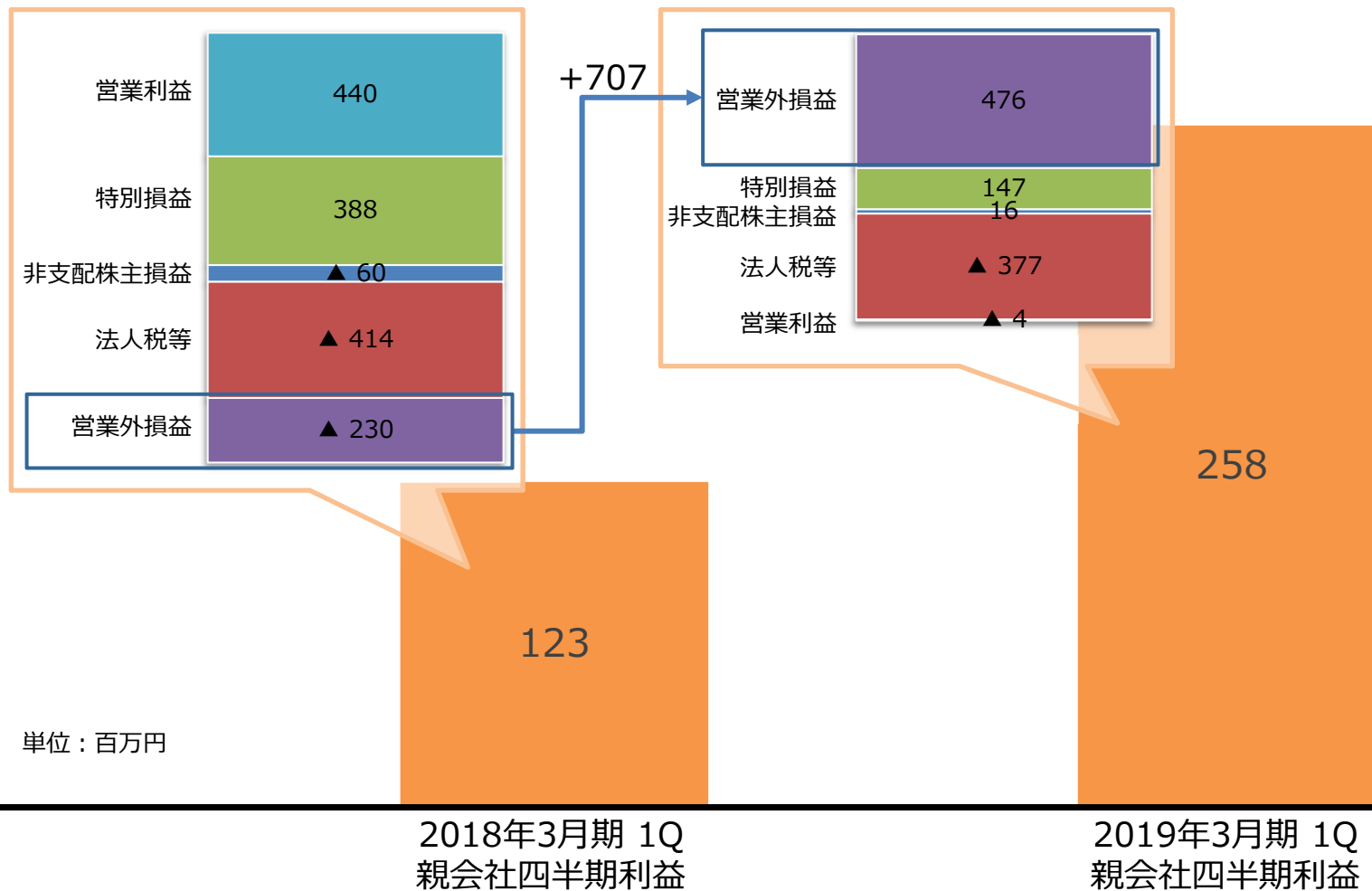


9. 親会社四半期利益の増減分析

- 親会社四半期利益 増加：+135百万円（+109.5%）

営業外損益

ファンド運用益の増加や持分法投資損失の減少などで707百万円増加



10. 連結貸借対照表の概要

- 資産：前期末の売上債権の回収等による「受取手形及び売掛金」などが減少
- 負債：「未払金」、「未払法人税等」などが減少
- 純資産：前期決算に係る配当による利益剰余金が減少、「為替換算調整勘定」が減少

単位：百万円	2018年3月末	2018年6月末	増減額	
流動資産	82,989	79,688	▲ 3,301	<ul style="list-style-type: none"> ・現預金▲1,827 ・受取手形及び売掛金▲2,374
固定資産	46,077	46,125	47	
資産合計	129,067	125,813	▲ 3,253	
流動負債	45,201	43,635	▲ 1,565	<ul style="list-style-type: none"> ・未払金▲807 ・未払法人税等▲1,136
固定負債	12,666	12,693	26	
負債合計	57,867	56,328	▲ 1,538	
純資産	71,199	69,484	▲ 1,714	<ul style="list-style-type: none"> ・利益剰余金▲687 ・為替換算調整勘定▲999
負債・純資産合計	129,067	125,813	▲ 3,253	
現預金	31,937	30,109	▲ 1,827	
有利子負債	14,887	14,361	▲ 525	
Netキャッシュ	17,050	15,748	▲ 1,302	

*Netキャッシュ=現預金－有利子負債

(ご参考) 保有上場銘柄

- 投資ポートフォリオはモニタリングを通じた定期的な見直しを強化

保有上場株式一覧

単位：百万円

種類	銘柄名	市場	証券コード	時価
関係会社株式	株式会社Jストリーム	東証マザーズ	4308	3,634
	応用技術株式会社	東証JQS	4356	2,114
	eMnet Inc.	KOSDAQ	123570	1,507
	PFSweb Inc.	NASDAQ	PFSW	4,053
	TensynPRC	ChiNext	300392	12,463
投資有価証券	株式会社MTG	東証マザーズ	7806	1,489
	株式会社ジーニー	東証マザーズ	6562	846
	株式会社メニコン	東証1部	7780	582
	大東建託株式会社	東証1部	1878	211
	日本航空株式会社	東証1部	9201	193
	ミズノ株式会社	東証1部	8022	36
	株式会社ジャックス	東証1部	8584	10
	Twilio	NYSE	TWLO	72
	SendGrid	NYSE	SEND	18
合計				27,236

※時価は2018年7月30日終値で計算。ただし、PFSWeb、Twilio、SendGridは7月27日終値。

11. 単体サービス 分野別売上高

● 業種別売上高

単位：百万円	2018年3月期 1Q		2019年3月期 1Q		増減率
		(構成比)		(構成比)	
情報通信業	13,196	27.0%	12,697	25.4%	▲3.8%
金融・保険業	8,171	16.7%	8,745	17.5%	7.0%
製造業	8,096	16.5%	8,384	16.8%	3.6%
サービス業	8,192	16.7%	7,768	15.5%	▲5.2%
卸売・小売業	6,335	12.9%	6,677	13.4%	5.4%
その他	4,964	10.1%	5,712	11.4%	15.1%

情報通信業：上位顧客のインターネット関連サービス会社などの業務が縮小
 金融保険業：保険会社向け業務などが増加
 製造業：自動車メーカー向け業務が増加
 サービス業：広告関連業務などが縮小
 卸・小売業：飲食卸向け業務などが増加
 その他：運輸・電気ガス関連向け業務が増加

● 顧客別売上高（上位5社）

単位：百万円	2018年3月期 1Q		2019年3月期 1Q		増減率
		(構成比)		(構成比)	
A社(PC/AV)	1,741	3.6%	1,869	3.7%	7.3%
B社(人材広告サービス)	1,300	2.7%	912	1.8%	▲29.8%
C社(旅行サービス)	617	1.3%	761	1.5%	23.5%
D社(建材・設備機器メーカー)	621	1.3%	699	1.4%	12.5%
E社(自動車メーカー)	459	0.9%	646	1.3%	40.6%

A社：CCを中心としたDECサービスの受注増加
 B社：DMを中心としたDECサービスの受注縮小
 C社：DMを中心としたDECサービスの受注増加
 D社：受発注業務などBPOサービスの受注増加
 E社：CC・設計開発などBPOサービスの受注増加

12. 設備投資・減価償却・従業員数・サービス拠点

● 設備投資額・減価償却費

単位：百万円	2018年3月期 1Q	2019年3月期 1Q	増減率
設備投資額	969	903	▲6.8%
減価償却費	684	761	11.3%

● 従業員数

	2018年3月末	2018年6月末	増減
連結従業員数	24,875	25,240	365
(臨時従業員数)	25,420	25,978	558
単体従業員数	10,609	11,388	779
(臨時従業員数)	22,573	22,664	91

● サービス拠点

	2018年3月末	2018年6月末	増減
サービス拠点	170	172	2
国内サービス拠点	58	59	1
海外サービス拠点	112	113	1

*サービス拠点は、自社サービス拠点のほかに本部・支社・営業所・関係会社・パートナー等の拠点も含む

● 設備投資

設備投資額は、中国での投資額が縮小したことが主要因で減少

● 減価償却

減価償却費は、中国と単体サービスにおいて過年度にセンター・事業所を新設・増強した影響などで増加

● 従業員

主に単体において新卒採用に伴い増加

● サービス拠点

国内は、首都圏に新設したBPOセンターが本格稼動。海外は、中国9拠点となるコンタクトセンターを新設

13. 1Q 活動トピックス

コンタクトセンターにおける 応対品質自動判定AIを開発

- 自社AI研究所のCommunication Science Labと共同開発
- 自社センターでの実証実験を経て「ヒトの精度で大量・高速」に判定することに成功
- コンタクトセンターの難題解決に向け 2018年度内のサービス化を推進

① 応対マナー

オープニング・クロージングの挨拶、クッション言葉、正しい言葉遣い等の**基本的なマナー、動作**ができているか

② 案内内容

約款や注意事項等の**伝えるべき情報**をユーザーに伝えられているか

③ プラスアルファの 対応

ユーザーの**状況に合わせた気づき**や**提案**等ができているか

上記、コンタクトセンターにおける応対品質3つの要素のうち、①応対マナーの要素を対象とした実証実験で成功

ビルオーナー・ビル管理会社向け ICTによる施設マネジメント・ワンストップサービス提供開始

- 安井建築設計事務所・当社・応用技術の3社協業により実現
- IoT環境センサーと建物3次元モデルを連携させた国内初の建築マネジメントシステム「BuildCAN」をベースとしたサービス
- 今後はバーチャル上で建物の将来予測を可能にする「建築のデジタルツイン・サービス」の開発を予定

統括・コンサルティング：安井建築設計事務所



13. 1Q 活動トピックス

カタログにスマートフォンをかざすと AR動画を視聴できる 日本直販ARアプリをリリース

- 4月2日より発刊される総合カタログから実装開始
- 紙面の限られた領域だけでは表現しきれない商品の魅力を訴求
- テレビショッピングのノウハウを最大限に活用した新しい購入体験を提供

紙が動く！

日本直販公式 AR アプリ

ARカメラがカタログショッピングをもっと楽しくする



トランスコスモス技術研究所 営業開始

- デジタル技術を活用した業務の効率化・コストの削減・利益の最大化に向けた研究開発およびサービス提供を実施
- 自社ソリューションの開発と導入を進めるため販売体制も強化
- 当社グループ全体のテクノロジー強化や、汎用プラットフォーム上での技術開発も推進



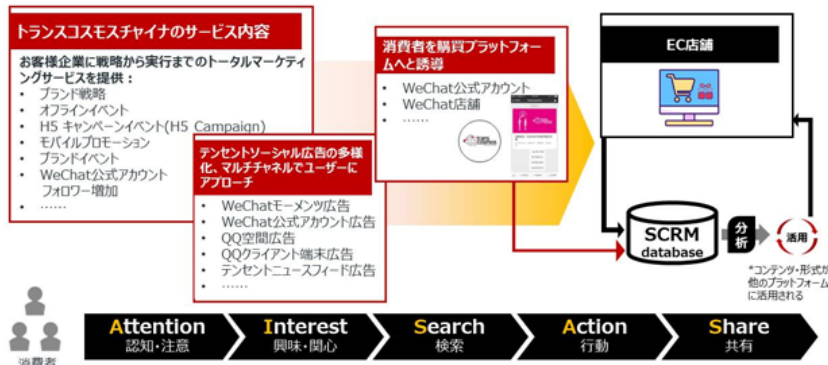
- 当社グループの次世代の柱となる技術・事業のPOC開発
- R&Dにおける品質管理とプロジェクト管理体制の構築
- 「DECAAds」のプリセールス
- マーケットに適応した新たな技術の調査・開発・運用

13. 1Q 活動トピックス

中国子会社が中国大手ネットサービス企業 テンセントのソーシャル広告代理権を 取得

- 「WeChat」、「QQ」などテンセントプラットフォームの広告配信サービスをお客様企業に提供可能
- 今まで以上にお客様企業に効果的なマーケティング支援を提供
- テンセントエコシステム内のサービスとの連携を強化することで、お客様企業の売上向上とブランディングをより高度に支援

トランスコスモスチャイナーテンセントソーシャル広告代理店
お客様企業に対し、テンセントソーシャルプラットフォームを利用する多くの消費者にアプローチできるよう、ブランディングとセールスを一体化にした、マーケティングソリューションの提供を可能に



DMM、STVV、Candee、当社 ベルギーでConnected Stadium事業を 開始

- 日本のIT技術を活用した新たなスポーツ体験を提供
- スタジアム内で観戦チケット購入や駐車場の予約、スタジアムでのグッズ、飲食の購入などがスマートフォン一つで完結
- スタジアムを起点に周辺地域やコミュニティの活性化にもつなげ、地域発展にも貢献



13. 1Q 活動トピックス (その他一覧)

● 新サービスのリリース

- 日本直販保有ネットワークを活用したシニア向けサンプリングサービスの提供を開始
- LINEの新機能「Flex Message」の先行提供を開始
- シナジーマーケティングの広告連携ツールを活用し「アドレスブル広告」を提供開始

● 子会社・センター拠点の拡充

- コンタクトセンター拠点「MCMセンター多摩」を拡大
- 中国の陝西省西安市にコンタクトセンター拠点を新設
- マシンラーニング・ソリューションズ、子会社「エッジインテリジェンス・システムズ株式会社」を設立
- 東京都のオペレーション拠点「BPOセンター亀戸」が本格稼働

13. 1Q 活動トピックス (その他一覧)



● サービスの提供実績

- 小田急電鉄に「ロボティクスマーケティング for ロボホン」を提供
- 「Gotcha!mall」 LINE公式アカウントの友だち数が1,000万人を突破
- 一般財団法人 全国SNSカウンセリング協議会 大阪北部地震で被災された方々のメンタルケアを行うため「LINE」を活用した無料相談事業を実施
- 北海道エア・ウォーターにLINEで問い合わせに対応するサービスを提供開始
- 大分県警察本部より「特殊詐欺被害防止コールセンター事業」の運営を受託
- SNSカウンセリング事業においてチャットプラットフォーム・LINE to Call・コンタクトセンターシステムの連携システムを構築
- トランスコスモスとソーシャルギア、再春館製薬所の台湾におけるデジタルマーケティングを支援
- ポニークリーニング、トランスコスモスと協業し「Gotcha!mall」へ参画
- 遠隔での特定保健指導サービスにLINE WORKSを導入

13. 1Q 活動トピックス（その他一覧）



● パートナー・受賞・その他

- LINE「Clova」のスキルを開発・拡張できる「Clova Extensions Kit」の初期パートナーに
- 持分法適用関連会社（TensynPRC）の株式譲渡契約締結
- 中国における建設業界向け設計支援サービスが評価され多くの賞を受賞
- Facebook社主催、2018年世界開発者会議（F8）にて株式会社サンリオエンターテイメントのメッセンジャーでのチャットボット活用が紹介
- セーフアーインターネット協会に参画
- “スター”のプレミアム体験をライブ販売するミーアンドスターズ、アテネ・北京両オリンピック金メダリストの北島康介がCSO（最高スポーツ責任者）に就任。
- トランスコスモスグループのMagic Panda、中国アリババグループからThe Customer Experience Excellence Award of 2018など多くの賞を受賞
- 「島ぜんぶでおーきな祭 第10回沖縄国際映画祭」に協賛
- 「アジア10都市オンラインショッピング利用動向調査2018」結果を発表



IRに関するお問い合わせ

トランスコスモス株式会社 広報宣伝部

Tel. 03-4363-0123

E-Mail. pressroom@trans-cosmos.co.jp